

## かんしょ「べにまさりフリー系122」および「べにまさりフリー系128」の育成と特性

みんなで進めよう  
茨城農業改革

農業総合センター 生物工学研究所  
農業研究所

「べにまさり」ウイルスフリー系統「べにまさりフリー系122」、「べにまさりフリー系128」を育成しました。両系統とも非フリーに比べ帯状粗皮病の発生が無く、いもの皮色は赤みが濃く良好です。いもの肥大が良いため、丸いもや条溝はやや多いですが、販売単価の高いM～L品の割合が高いのが特徴です。

### べにまさりフリー系の形状,皮色

いもの形状は非フリーに比べやや丸く紡錘形です。帯状粗皮病(ウイルス病)の発生が無く、非フリーに比べいもの皮色は赤みが濃く優れます。

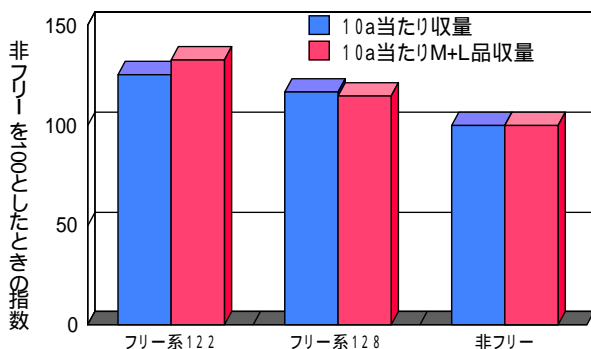


図 フリー系の収量・M～L品収量

### べにまさりフリー系の収量性

「フリー系122」は非フリーに比べ1株いも数は少ないですがいもの肥大が良く、10a当たり収量は25%程度多収、M～L品収量は30%程度多収です。

「フリー系128」は非フリーに比べ1株いも数は少ないですがいもの肥大が良く、10a当たり収量は15%程度多収、M～L品収量も15%程度多収です。

### べにまさりフリー系の品質,食味 栽培上の留意点

フリー化するといもの肥大が良くなり収量は上がりますが、丸いもや条溝が発生しやすくなります。フリー系の蒸し芋のBrix糖度は非フリーとほぼ同等です。

フリー苗を使用する場合は、施肥窒素量を少なく、密植(株間を狭く)とし、掘り遅れないようにします。

また、大いもは植え付け節数を多くする(4節植え)ことで抑制できます。

表 フリー系の品質と蒸し芋のBrix

系統名	丸品率 (%)	条溝 (%)	蒸し芋の Brix(%)
フリー系122	14.4	18.0	7.4
フリー系128	12.8	6.7	7.7
(参考)非フリー	5.3	1.3	7.5

< 問い合わせ先; 生物工学研究所普通作研究室 又は農業研究所作物研究室 >

< 電話共通 029(239)7212 >